

# マツバラン

じゅんげつめつ きく  
準絶滅危惧

がくめい 学名 Psilotum nudum  
 かめい 科名 マツバラン  
 べつめい 別名 ホウキラン  
 くぶん 区分 シダ類  
 いしかわけん みやぎけん いなん しこく きゅう  
 石川県・宮城県以南、四国、九  
 ぶんぶ 分布 しゅう おきなわ ねったい・あ ねったいちいき  
 州、沖縄、熱帯・亜熱帯地域



はかたち 葉の形

はふち 葉の縁

はさき 葉の先

はしゅるい 葉の種類

はつきかた 葉の付方

はきぶ 葉の基部

みしゅるい 実の種類

はながいろ 花・萼色

き ちやくせい 木に着生するシダ植物です。葉と根はなく、茎は二  
 また じょう ぶんき みどりいろ むもつ なが たつ  
 又やほうき状に分岐し緑色で無毛、長さは30cmに達  
 するものもあります。箒のようにみえることからホウ  
 せい  
 説 キランともいわれています。茎の先端には胞子のうが  
 めい  
 明 あり、熟すと黄色くなります。